

# Eric Lu

## Piano Recital

エリック・ルー  
ピアノ・リサイタル

ショパン国際ピアノ・コンクール(2025年)優勝

並外れた感受性とテクニックで織り成す、揺るぎない響き  
世界を舞台に輝きを放つ逸材が奏でる『人生の詩』

### PROGRAM

シューベルト

即興曲 D935 Op.142

Franz Schubert: Impromptus, D 935, Op.142

第1番 へ短調

No.1 in F Minor

第2番 変イ長調

No.2 in A-Flat Major

第4番 へ短調

No.4 in F Minor

ショパン

バラード第4番

へ短調 Op.52

Fryderyk Chopin: Ballade No.4

in F Minor, Op.52

ショパン

ポロネーズ

変ロ長調 Op.71-2

Fryderyk Chopin: Polonaise

in B-Flat Major, Op.71, No.2

ショパン

ノクターン

嬰ハ短調 Op.27-1

Fryderyk Chopin: Nocturne

in C-Sharp Minor, Op.27, No.1

ショパン

ピアノ・ソナタ第3番

ロ短調 Op.58

Fryderyk Chopin: Piano Sonata No.3

in B Minor, Op.58

※当初の予定から曲目の一部が

変更になりました

2026

2/26 木



浜離宮朝日ホール

開演19:00(開場18:30)

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

[全席指定・税込]

一般 ¥5,500

U30 ¥2,000

©Anna Skzlener

チケット

発売中

お問合せ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990(日・祝除く10:00~18:00) [主催] 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール [特別協賛] 竹中工務店



# 気高く灯る才能の光 —— エリック・ルーが描く音の情景

2018年に20歳でリーズ国際ピアノ・コンクールを制し、2025年にはショパン国際ピアノ・コンクールで優勝したことで一躍世界の注目を集めたエリック・ルーが浜離宮朝日ホールに初登場します。これまでにシカゴ響やロンドン響など屈指のオーケストラと共演。ロバート・マクドナルドやダン・タイソンに師事し、内田光子やイモーゼン・クーパーといった巨匠たちの薫陶を受けながら、深い音楽性を培ってきました。今回のリサイタルでは、まず初めに、エリックが『最も激しく私の心を動かす作曲家だ』と語るシューベルトの作品から「即興曲 D935 第1番、第2番、第4番」を演奏。続いて、彼がショパン国際ピアノ・コンクールで優勝を果たした際に取り上げた、ショパンの傑作を披露します。いずれも、長い時間をかけて丹念に磨き上げてきた、彼にとって大切なレパートリーです。作曲家の心に寄り添い、旋律の奥にある感情を真摯に、丁寧に描き出す。そんなエリック・ルーならではの音楽が、この夜、静かに美しく、そして力強く響き渡ることでしょう。※出演者の強い希望により、当初の予定から演奏曲目が変更になりました。

## エリック・ルー [ピアノ] Eric Lu, Piano

2025年のショパン国際ピアノ・コンクールで優勝。2018年にはリーズ国際ピアノ・コンクールでも優勝した。思慮に富んだ、詩情あふれる力強い演奏により、すでに世界の音楽シーンで最も際立ったアーティストの一人として定評を得ている。

近年共演した、あるいは今後共演するオーケストラには、シカゴ響、ロンドン響、ボストン響、ロサンゼルス・フィル、N響、オスロ・フィル、ルクセンブルク・フィル、ストックホルム・フィル、スコットランド室内管、フィンランド放送響、読売日響、シアトル響、ヘルシンキ・フィル、ロイヤル・フィル、東京響、リール国立管、上海響などがある。また指揮者では、リカルド・ムーティ、ミルガ・グラジニエーティ、ライアン・バンクロフト、ファビオ・ルイジ、マリン・オルソップ、ダンカン・ウォード、ヴァシリー・ペトレンコ、エドワード・ガードナー、サー・マーク・エルガー、トーマス・ダウスゴ、マルティン・フロストラの名が挙げられる。

リサイタルは、ケルン・フィルハーモニー、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ロンドンのクイーン・エリザベスホール、ハンブルクのエルブフィルハーモニー、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、サンフランシスコのデイヴィス・ホール、シャンゼリゼ劇場、ブリュッセルのパレ・デ・ボサール、東京オペラシティ、上海交響楽堂、ソウル・アーツ・センター、ワルシャワのフィル

ハーモニーホールなどで行っている。2025年には、ロンドンのウイグモアホールで7年連続となるリサイタルを開いた。BBCプロムスやルー・ピアノフェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン音楽祭、アスペン音楽祭などの音楽祭にも出演。

録音はワーナー・クラシックスに行っており、アルバム第3弾は2022年にリリースされたシューベルトのソナタ第20番D959と第14番D784。世界の批評家たちの絶賛を浴び、BBCミュージック・マガジン誌ではレコード・オブ・ザ・イヤーの器楽部門に選出され、「ルーは現代のシューベルト奏者としての地位を確固たるものにした」と評された。前作のショパン「24の前奏曲」とシューマン「精霊の主題による変奏曲」によるアルバムはインターナショナル・ピアノ誌から「真に魔法のような」と称賛されている。2026年1月にはシューベルト「即興曲」全曲の新譜をリリース。また2025年11月にはドイツ・グラモフォンからショパン・コンクールのハイライトを収録したライブ・アルバムが発売された。1997年マサチューセッツ州生まれ。カーティス音楽院を卒業し、ロバート・マクドナルドとジョナサン・ピスに師事。2011年から18年まではダン・タイソンにも師事した。2017年にドイツ国際ピアノ・アワード、2021年にはエイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラントを受賞している。

### チケット販売所

◎朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) ◎朝日ホール・チケットセンター <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/>

◎イープラス <https://eplus.jp/asahihall/> ◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ◎teket <https://teket.jp/9987/54248>

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222  
※U30の取り扱いには朝日ホール・チケットセンター(電話・WEB)のみ。公演当日に満30歳以下である方が対象。公演当日、入場口にてチケットと共に生年月日のわかる身分証(顔写真付き)をご提示ください。  
※都合により公演内容が変更となる場合がございます。※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはおこないませんので予めご了承ください。



## 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
朝日新聞東京本社・新館2階 TEL.03-5541-8710

### アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線  
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)  
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)  
東京メトロ銀座線(1,2番出口)  
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

### 浜離宮朝日ホール公式



主催公演の最新情報を随時発信しますので、ぜひ「フォロー&いいね!」をお願いいたします!

浜離宮朝日ホール  
@HamarikyuuAH

## 繊細で優美な音色が紡ぐ、エリック・ルーの心揺さぶる演奏

9月24日SACDハイブリッド国内盤2タイトル同時発売!



ショパン:  
24の前奏曲 他  
(SACDハイブリッド)

WPCS-28508 3,300円(税込)

幼い頃からインスピレーションを受けて来たショパンの前奏曲を詩的な感性で綴る。

### 収録曲

ショパン: 24の前奏曲 作品28  
ブラームス: 3つの間奏曲より 第1番 作品117-1  
シューマン: 主題と変奏《幽霊変奏曲》WoO 24 ※2019年録音



シューベルト:  
ピアノ・ソナタ 第14番・第20番 他  
(SACDハイブリッド)

WPCS-28509 3,300円(税込)

エリック・ルーが最も心を動かされる作曲家シューベルト。音楽に真摯な姿勢で向き合い、感情の機微を繊細に描き出した演奏。

### 収録曲

シューベルト:  
ピアノ・ソナタ 第20番 イ長調 D959、アレグレット 短調 D915、  
ピアノ・ソナタ 第14番 イ短調 D784 ※2022年録音

### 好評配信中



シューベルト:  
4つの即興曲  
Op.90 D899

エリック・ルーが「ピアノ音楽の偉大な宝石」と語る美しい作品  
※配信限定

詳しい作品情報は  
こちら

